

平成 25 年度

第51回 越馬徳治科学賞 表彰状授与及び助成金交付式

日時 平成 26 年 2 月 19 日 (水)

13:30 ~ 14:30

式場 石川県教育センター大研修室

式 次 第

- 1 開式のことば
- 2 表彰状及び記念品等授与
個人表彰
功労者表彰
学校表彰
- 3 助成金交付
学校助成
- 4 表彰状授与及び奨励金交付
研究奨励
- 5 あいさつ
石川県科学教育振興会会長 菱 沼 捷 二
- 6 来賓祝辞
石川県教育委員会教育長 木 下 公 司
- 7 受賞者代表謝辞
- 8 閉式のことば

受賞者等の紹介

1 個人表彰

金沢市立千坂小学校 教諭 加藤 雄一

金沢市立材木町小学校を初任に、同木曳野小学校、同金石町小学校、かほく市立宇ノ気小学校、津幡町立太白台小学校を経て現在に至る。指導面では、金沢市児童科学教室指導員、かほく市子ども科学教室指導員、いしかわ宇宙の学校指導員、津幡町シグナス児童科学クラブ指導員、津幡町ジュニアのびのびクラブ指導員を務めてきた。また、「理科の学習」編集委員、金沢市小教研理科部会広報誌「知の創造」編集委員、小教研理科部会代表運営委員、全国小学校理科研究大会石川大会編集委員、金沢市教職員研修理科実技研修講師、河北郡市小学校科学研究物審査会審査委員を務め、理科教育の振興に貢献している。

金沢市立清泉中学校 教諭 道島 鈴子

金沢市立医王山中学校を初任とし、同長田中学校、同高岡中学校、同浅野川中学校を経て現在に至る。研究面では、金沢市奨励研究「環境を考える」の取組や、全国中学校理科大会において理科の指導法に関する研究の実績がある。指導面では、金沢子ども科学財団中学校サイエンスクラブ指導員・事務局次長、広坂子ども科学スタジオ教室講師を務めている。また、科学部の顧問として、科学作品コンクールの出品啓発と指導のほか、石川県創造ものづくり教育フェア 中学生ロボコン石川県大会に参加する生徒の指導にあたり、平成24年度は2位の成績を収め、東海北陸ブロック大会に出場している。さらに、金沢市中学校文化連盟理科部副部長を務め、金沢市中学校生徒理科作品研究発表会の企画運営を行い、理科教育の振興に貢献している。

石川県立七尾高等学校 教諭 屋敷 秀樹

石川県立門前高等学校を初任に、同鹿西高等学校を経て、現在に至る。研究面では、数理工教育セミナー、日本理科教育学会北陸支部大会、石川県高等学校理化研究大会、北信越理科大会において、実践提案、研究発表等の実績がある。指導面では、石川地区中学高校生徒化学研究発表会や、高校生による青少年のための科学の祭典、中学生サイエンスフェアの運営・指導のほか、環境放射線測定教室を開催している。また、石川県高等学校教育研究会理化部会の理事や特別委員、実験書検討委員を歴任し、能登地区物理実験研究会を立ち上げ、幹事を務めるなど、理科教育の振興に貢献している。

2 功労者表彰

金沢市立長田中学校 校長 宮本 浩一

野々市町立御園小学校を初任に、同布水中学校、同野々市中学校、同中学校教頭、石川県教育委員会金沢教育事務所主任管理主事、同管理課長、野々市町立布水中学校校長を経て、現在に至る。研究面では、石川県教職員奨励研究において「視聴覚機器を利用した理科教材づくり」について研究発表の実績がある。指導面では、長年、夏休みの自由研究の推進を図り、研究の指導・支援にあたった。さらに、わかりやすく、生徒の興味・関心を高める教材づくりや、自己指導力の育成を目指した授業づくりを進めてきた。また、石川県理科教育研究会理事、副会長を務め、理科教育の振興に貢献している。

3 学校表彰

金沢市立泉野小学校

(校長 木谷 誠治)

当校は「自分で考える子」をテーマに学校研究を進めている。理科においては、実感を伴った理解や活用力の育成に努めており、教師の指導力向上のため、理科実技研修会も実施している。毎月の全校集会では、校長が自ら熱気球やストローロケットなどの実験を紹介し、校内には「おもしろサイエンスコーナー」が設置されるなど、児童が日常的に科学のおもしろさ、不思議さを感じる環境づくりがなされている。また、「いしかわ学校版環境ISO認定校」として環境教育を推進しており、地域を巻き込んだ活動を実施している。夏季休業中には、自由研究相談日を設け、実験器具も貸し出して奨励しており、近年は金沢市商工会議所会頭賞(学校賞)を続けて受賞した。サイエンスクラブによる池の微生物の観察や、5年生によるサケの飼育・放流の活動が継続的に行われている。

金沢市立兼六中学校

(校長 荒井 秀典)

当校は、地道に理科教育に取り組み、生徒の科学する心を喚起するよう心がけている。夏季休業中には、自由研究のために理科室を開放し、研究の相談や実験器具の貸し出しを行い、理科研究を奨励している。その結果、高峰賞や高峰譲吉博士顕彰会奨励賞、石川県児童生徒科学作品コンクールでは、数多くの生徒を受賞に導いている。さらに、平成25年には、金沢市生徒理科研究発表会に参加し、優秀賞を受賞するなど、生徒の科学する心や挑戦する心を大切にしたい取組を行っている。理科の授業においては、実社会や実生活と関連した事例を紹介し、理科の有用性を意識できるよう進めている。また、多くの実験・実習に取り組むよう学習計画を立てて進めている。実験器具の分かりやすい配置や、身近な科学トピックスの掲示など、理科室の環境整備にも配慮している。

石川県立金沢伏見高等学校

(校長 菱田 浩章)

当校は、自然科学コースの生徒による学校設定科目での成果を広く発信してきた。平成23年度から、文科省の推進事業「環境のための地球学習プログラム(グローブ)」の第9期(平成23・24年度)指定校となり、科学部を中心に「伏見川における水生生物と水質の調査」の研究を進めるとともに、地域や保護者などに向けて研究成果を発表してきた。平成24年12月に東京で行われた「第7回グローブ日本 生徒の集い」において、環境実験ワークショップに参加し、口頭発表、ポスター発表を行った。また、平成25年度には全国高校総合文化祭自然科学部門生物において、県代表として発表した。普及活動では、高校生による青少年のための科学の祭典に3年連続出展し、地域の子どものための科学教育に貢献している。また、伏見川流域の小学校において、環境教育の出前授業を行っている。

4 学校助成

加賀市立作見小学校

(校長 中根 光好)

加賀市立錦城中学校

(校長 宮本 勉)

石川県立大聖寺高等学校

(校長 西出 隆則)

平成26年度に加賀市で開催される第51回石川県理科教育研究大会の公開授業担当校として、小・中・高等学校をつなぐ理科教育を積極的に推進している。

5 研究機関助成

石川県教育センター

(所長 宗末勝信)

学習指導要領改訂の柱である理数教育の充実に向け、継続的な研修を実施し、科学教育の振興・発展に努めている。

6 研究奨励 (※は研究代表者)

〔優秀賞〕

子どもが創る理科

～実感を伴った理解を目指して～

金沢市立鞍月小学校教諭

岩澤 輝子*

金沢市立額小学校教諭

吉本 敦子

金沢市立明成小学校教諭

江藤 里佳

金沢市立泉野小学校教諭

室木千恵子

子どもが創る理科

～運動の規則性について興味・関心を持って追究する子をめざして～

金沢市立菊川町小学校教諭

田井小百合*

金沢市立大徳小学校教諭

中島 晶子

金沢市立泉野小学校教諭

鳥田 千絵

原子論的なものの見方・考え方を通して、

科学的な見方や考え方を養う指導法の工夫

珠洲市立宝立中学校教諭

時兼 秀充

〔優良賞〕

電流単元での体験活動やものづくりを通して、活用を育む理科授業

～既習を活かした紙コップスピーカーの性能改善～

かほく市立宇ノ気中学校教諭

竹田 美鶴*

かほく市立宇ノ気中学校教諭

中野 直美

白山市立北星中学校教諭

出口 翔太

〔佳良賞〕

天気図データベースの教材化

石川県立金沢錦丘高等学校教諭 沖野 信一*

金沢市立鳴和中学校教諭

山口 達弘